

学習課題(中学校3年生)



【音楽】

＜学習内容＞「アーティキュレーションを工夫して表現しよう」①

○器楽の教科書P16～17にある様々なアーティキュレーションの違いを理解し、音と音のつながりを意識して表現を工夫しよう。



※参考動画 http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/gakushuukadai_chuu3.html

＜取り組み方＞ 家にあるソプラノリコーダーやアルトリコーダーを使いましょう。

- (1) 器楽の教科書P9「メリーさんの羊」の模範演奏Aおよび模範演奏Bを聞き、二つの演奏の違いを考えてみよう。演奏は動画で確認できます。
- (2) 器楽の教科書P16～17「アーティキュレーション」を読み、四つの奏法の違いについて確認しよう。
- (3) 器楽の教科書P16～17の四つの奏法の違いを意識しながら、模範演奏と一緒に演奏してみよう。また、それぞれの奏法はどのような感じがしたかメモしておこう。

例) スタッカート奏法はスキップしているような元気な感じ

ノンレガート奏法

スタッカート奏法

テヌート奏法

レガート奏法

- (4) 器楽の教科書P99～99-①の運指表を確認しながら、(1)で確認した器楽の教科書P9「メリーさんの羊」の演奏A、Bをそれぞれアーティキュレーションの違いを意識しながら練習してみましょう。

＜学習のヒント＞

- (3) スタッカート奏法は舌先を使って丁寧にタンギングをすると良いでしょう。レガート奏法は「tu--- tu- tu-」と声に出してタンギングのみで練習してみるのも良いでしょう。